

地域と企業の発展のために、私ども中小企業診断士をご活用ください。



岡山県中小企業診断士会会報

2021年12月15日発行（第20号）

一般社団法人 岡山県中小企業診断士会
〒700-0985 岡山市北区厚生町 3-1-15 岡山商工会議所ビル 5階
TEL (086)225-4552 FAX (086)225-4554 URL <https://osmeca.org/>

巻頭言

新時代を切り開く中小企業診断士

◆◆代表理事・会長 松本直也◆◆



新型コロナウイルスの影響による業績低迷や回復の不透明感が続く中で、中小企業診断士への期待が高まっています。今こそ中小企業診断士の支援力が地域社会に試されているといっているでしょう。

地域経済におけるアフターコロナの時代を見据える中で、「新しい資本主義」は一つのキーワードです。新しい資本主義では「成長と分配の好循環」と「コロナ後の新しい社会の開拓」が掲げられており、地域の中小企業経営にとって大きな影響を与えることとなるでしょう。

◆成長戦略と分配戦略

成長戦略は中小企業診断士が得意とする分野です。新しい資本主義における技術革新・DX・クリーンエネルギー等のイノベーションの促進、スタートアップの支援強化による我が国企業のダイナミズムの復活、デジタル技術活用による地域活性化といった取り組みは中小企業支援にとっていずれも重要項目です。

もう一つが分配戦略です。賃金格差の問題や賃上げ、同一労働同一賃金への対応等、人への投資

を中心とした中小企業経営の更なる促進が求められます。パートナーシップ宣言による取引適正化や生産性向上による採算性の確保も重要です。

中小企業の成長と分配の好循環を描くことは経済活動の活性化に留まらず、地域社会の活動に大きく貢献します。人口減抑制やコミュニティ・文化・教育活動の担い手、消費人口の維持等の効果に直接的につながっていきます。

◆持続可能な社会の実現

中小企業診断士には、既存の経営課題への解決支援はもちろんのこと、「コロナ後の新しい社会の開拓」への支援に対応していく必要があります。コロナ後の新しい社会像は現状では明確ではありませんが、その一つに持続可能な社会の実現を挙げることが出来るでしょう。地域において中小企業が持続的な経営を実現するために、適切に成長・分配し、地域に貢献することが求められます。このために、我々は経営革新や事業再構築等による成長を積極的に支援し、中小企業の経営力を向上させるとともに、人への投資を踏まえた総合的な支援を一層包含していくこととなるでしょう。

中小企業診断士は中小企業の身近なパートナーとして、日々支援現場に立ち、個社の業績向上に貢献するとともに、地域社会活性化の視座の涵養も求められます。

今後も中小企業の期待に応え続け、新時代を切り開くパートナーとしての支援力向上への努力を続けていきたいと思います。



◆◆◆理論政策更新研修◆◆◆

完全リモート開催

本年8月29日開催の「理論政策更新研修」は直前に岡山県下に「緊急事例宣言」が発令されたため、完全リモートでの開催となりました。参加者は200人でした。内容は以下のとおりです。

○新しい中小企業施策について

中国経済産業局産業部中小企業課
課長補佐 中井 靖 様

○リピーター戦略と知的財産の活用による 企業成長（講義・演習）

中小企業診断士 内藤 義光 様

◆「新しい中小企業施策について」では、国内中小企業の現状についての解説や事業承継、新型コロナ対応等、最新の中小企業施策のポイントの説明がありました。

◆「リピーター戦略と知的財産の活用による企業成長（講義・演習）」では、具体的な中小企業の支援事例を通して、知的財産を有効活用した組織活性化、営業活動の改善、独自のITツールの開発・活用等について講義・演習がありました。多くの受講者から、「実践的・具体的な研修であり、非常に有意義であった」と高い評価がありました。

◆◆◆中小企業診断士の日 記念事業◆◆◆

連携支援事例を発表

「中小企業診断士の日」(11/4)にちなんだ記念事業として、「中小企業診断士の活用事例発表会」を本年11月11日にホテルグランヴィア岡山にて開催しました。発表事例は資金調達、災害支援、SDGsをテーマとした3件で、いずれも支援機関と診断士が連携した取組です(詳細後記)。支援機関のサポートに診断士の助言が加わることで、課題解決や復興が進みました。聴講参加者は金融機関や支援機関などから55人が集まりました。終了後のアンケートでは100%の方が良かった(とても良

かった77%、まあ良かった23%)と回答しており、大変好評を得た発表会でした。

◆事例発表内容

1. 題目「**トモ・プロジェクト(株)の資金調達。
業態転換支援**」
発表者 岡山商工会議所 枝 純一郎
会員 植野 悦次
2. 題目「**平成30年7月豪雨災害における
事業者支援**」
発表者 岡山県商工会連合会 津田 健治
会員 山本 浩章
3. 題目「**みのる産業(株)のSDGs支援**」
発表者 (公財)岡山県産業振興財団
小川 洋子、会員 難波 治彦



発表会の様子

◆研究会活動報告◆

《問題解決力向上研究会》

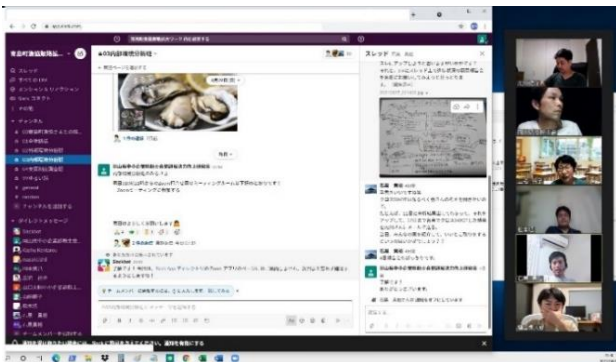
当研究会は、過去の診断案件等を題材にして、「問題把握・原因究明・提案施策について、”広く、深く”考えることに特化した、コンサルタント必須の問題解決力を鍛える会です。

4月のWeb会議から毎月活動しており、8月からは県内の漁業協同組合から依頼を受けた食材加工品のマーケティング提案事業に取り組んでいます。

当会では、参加者個々のスキルと経験が共有され、一人では得られない情報や気づきを得ることができます。さらに、先輩診断士の皆様の強力なバックアップに支えられ、経験の浅い新米診断士が伸び伸びと成長できる場です。入会して間もない方や、ご自身の問題解決力を鍛えたい方は、ぜひお気軽にご参加ください。

また当会では、今後も企業等からの依頼により、診断実務を行う実践的な活動を求めています。

「診断案件はあるが自分一人ではなかなか踏み出せない」とお悩みの方、「この会にA社の診断をやってもらおう」という方はぜひお声かけください。



web会議(上)とリアル会議

《診断士キャリアアップ研究会》

当研究会は、診断士会入会後3年未満の会員を対象にした交流会中心の研究会です。診断士資格を活用したキャリアアップの研究・自己PR力の向上等をテーマに活動しています。

緊急事態宣言を受けて順延となっていましたでしたが、本年10月30日(土)、岡山国際交流センターにて第3回研究会を開催し、総勢17名(会場15名・Web2名)が参加しました。

今回新たな参加者の自己PRの後、大友隆史さん、三宅裕子さん、長船洋人さんによるミニセミナーを実施。各講師の得意分野や専門性をもとにしたプレゼンテーションと自己PR、闊達な質疑応答により、参加者の学びと相互理解の促進が図られました。その後は懇親会を開催し、おおいに盛り上がりました。

次回開催は来年1月の予定です。参加者も続々と増える見込みです。何より「楽しみながら継続的に参加できる」ことを大切にしていますので、ぜひお気軽に参加してください。



ミニセミナーの様子

《AI研究会》

当研究会は、2018年8月に発足しました。現在、研究会メンバーは7名(太田、岡本、長野、入矢、田中、内田、大友)です。参加者全員がプログラミング経験者、システム開発経験者です。月1回研究会を開催して、AIやITについての情報交換を行っています。コロナ禍以降、WEB会議形式で開催してきましたが、6月以降はコロナ対策をしっかりと行った上で集合しています。

ここ半年間、「実際にAIプログラミングをやっ

てみる」をテーマに、書籍『IT 農家のラズパイ製ディープ・ラーニング・カメラ』を全員で勉強しています。書籍を参考にして、実際に枝豆を購入し、WEB カメラ、照明等の撮影機材を準備し、開発環境の準備→枝豆の画像撮影→データセットの作成の流れを実践しました。この学びを継続し、書籍では学べない「AI プログラミングの実際の現場」を体感しています。世の中では、「AI を使って簡単にできるように…」などと言われますが、実際にAI を使いこなすことはとても至難の業であることを体感しています。

例えば、AI プログラミングはAI 開発環境や、AI ライブラリのバージョンが変化すると、すぐに動かなくなる場合が多々あります。また、WEB カメラの撮影では、枝豆の画像に影が映り込むと、画像の質が落ち、AI の学習レベルが落ちます。そのため、影を最小限にする光の当て方や撮影方法を検討したり、再現性を持たせるために、しっかりと記録を残す必要があります。

これからも引き続き、じっくり時間をかけて、実践研究を進めつつ、「中小企業における AI 活用の最前線の研究」にも取り組む予定です。システム開発経験者、またはデータサイエンティストを目指す方の参加をお待ちしています。



研究会の様子(上)と枝豆を使った実践研究

◀循環ビジネス研究会▶

当研究会は設立以来、循環ビジネスについて研究しています。昨年度は中小企業診断協会（旧本部）調査研究事業を行いました。

先日開催された COP26 で産業革命以来の気温上昇を 1.5℃以内に抑制に努力することが合意されました。昨年のカーボンニュートラル宣言によって、日本のものづくりが大きく変化すると予測されます。しかし、現実是一本調子でカーボンニュートラルに進まないようです。太陽光パネルは累積生産量の増加によってコスト削減されると予測されていましたが、中国が環境規制の甘さによる低価格戦略でシェアを伸ばして世界を席巻し、独占状態になると今度は規制を強め、価格を引き上げています。ヨーロッパでは風が吹かないため風力発電ができず、電気料金が高騰しました。

現在は大企業による技術開発の段階で、中小企業の対応はこれからという印象を受けます。また、ESG 投資についてもブームによるバブルの様相を呈しているとの見方もあります。ただ、電気自動車のようにカーボンニュートラルへの対応が先行している場合は、大企業の一挙手一投足に中小企業が振り回されているように見受けられます。研究会では中小企業に影響ある事柄について引き続き調査・研究したいと考えています。岡山県等の産業廃棄物診断は引き続き真摯に行います。

◀地域活性化研究会▶

当研究会の本年度のテーマは「農業観光」です。

「緊急事態宣言」の合間を縫って、7月23日、安藤、松本直、松本旭、太田、津田、大西の6名で広島県三次市の「平田観光農園」に研修視察に出向きました。同農園は1955年にリンゴの植栽からスタートし、今では広さ15haのなかで14樹種150品目の果物を栽培し、周年観光を実現しています。様々な体験施設や遊びの広場も設け、まさに「フルーツのテーマパーク」です。当初からブランド化、6次化、体験メニューなど付加価値のある農業経営を手掛け、「農業は儲からない」という先入観を払拭し、人材の確保、育成にも注力しています。経営目線を持った取組は参考にすることが多く、まさに「収穫のある」研修でした。



視察研修の様子。講師は平田真一取締役(写真上)

《ものづくり企業研究会》

当研究会では、「今まさに支援を必要としている中小のものづくり製造現場へ最適な支援を確実に届けること」を目標に、現地調査とヒアリングはもとより、統計データの分析や県下の産業史に関する調査など、多角的な切り口で研究活動を行っています。

コロナ禍で日程調整の厳しい中で企業視察を行い、さまざまな経営課題を認識し、現地・現物での改善提案も行っています。11月には「成長しているものづくり中小企業者」3社の調査を実施しました。今後、これらの調査結果を分析することで中小企業者への最適な支援策を探っていきます。今年度に入り新たに6名加入したこともあり、岡田貞夫先生（診断士会 OB）に講師になって頂き、勉強会も実施しています。ベテランと新人が意見交換し「ものづくり」の理解を深めています。



《サステナビリティ経営研究会》

当研究会は、サステナビリティ経営を目指す企業に対して、経営ツールであるSDGsを事業戦略に取り入れる助言力の向上をテーマに活動しています。

本年4月に立ち上げ、3名で活動しています。現在は、「両利きの経営」「行動経済学」理論を活用したワークショップの開発を進めています。このワークショップは、業績停滞の後、経営危機に陥る前に企業が取べきこれからの方向性について、難しい経営理論が分からなくても経営者と従業員が共にワークを行う事で、新たな事業創出やビジョン策定に資するモノになるように検討を重ねています。活動は平日夜・土日中心で、1か月に1度程度、ミーティング・勉強会、ワークショップ（オンライン参加も可）など行っています。



視察訪問先での記念写真

◆◆◆新会員紹介◆◆◆

◆◆観光振興に取り組む◆◆

◆西井 正樹（にしい まさき）◆

現在、地方公共団体に所属し、観光事業のプロジェクトマネージャーとして、観光施設の整備、運営、プロモーションに携わっています。企業内診断士として、コロナウイルス感染症の動向を注視しながら、観光振興に取り組み、地域経済の活性化、地域の発展に寄与したいと考えています。



また、これまで人事・組織の仕事に長らく携わりました。組織における最も重要な財産は「ヒト」だと考えています。得意分野として、人事・組織についても引き続き研鑽を積みたいと思います。

これまで、相談いただいた事業者の方々、そして、これから相談いただく方々の成長や成功に微力ながらも貢献したいと思います。

◆◆経営全体を俯瞰したい◆◆

◆藤本 宏起（ふじもと ひろき）◆

出身は笠岡市、現在は岡山市内に在住しています。大学を卒業後、金融機関に就職し、営業店、監査部門にて監査企画等を主に従事し、その後現在のコンプライアンス部門に在籍しています。管理部門が中心であったため、中小企業の経営者や従業員の方と接する期間は限られたものでしたが、監査部門で経験した提言や改善へのアプローチは診断士に通じるものがあると考えています。



診断士を目指したきっかけは、監査部時代に管

理だけではなく、営業目線での観点がなければ経営全体を俯瞰できないと思います、受験しました。試験に合格したばかりで、実際に自分に何ができるのかを模索している状況ですが、皆様からご指導いただきながら、経験を積み、中小企業の経営者、従業員の方に役立つ診断士となるように一生懸命頑張りたいと思います。

◆◆企画・製造から販売まで◆◆

◆浦上 智行（うらかみ ともゆき）◆

備前市出身。2020年に診断士試験に合格し、本年7月に登録しました。経歴は携帯電話部品製造会社の製造職、アルコールメーカー傘下の店頭販売促進事業、清涼飲料事業の本部営業を経て、現在は製薬会社で営業を行っています。



得意分野は製造現場のQC活動・5S活動等の現場改善・効率化、小売店の店頭プロモーションによる販売促進、商品企画等のマーケティング・販売活動などモノづくりの企画、製造から販売までです。

趣味は登山と飲み歩き。そしていつかは「ピアノを習いたい!」と思っています。地元岡山県で中小企業者に寄り添った支援に携わり、地域経済の発展と社会貢献に取り組みます。



◆◆◆独立しました！◆◆◆

◆◆デジタル、数字、人事で攻める◆◆

◆山口 大輔（やまぐち だいすけ）◆

名古屋商科大学大学院にて MBA 取得後、三重県から本年4月岡山市に移住し、独立しました。現在34歳で、塾講師7年間、会計システムの営業3年間の職務経験です。専門分野はマーケティング（販売士1級）。強みはロジカルシンキング（エグゼクティブ MBA）を用いた事業計画書作成の支援です。独立して良かった点は全ての時間を自由に設定できる（どの案件を受けるか、どの時間で誰と会うか、どの間に勉強するか etc・・・）こと。そして事業主と同じ目線で考えられる（一人の事業主として支援者の相談に乗れる）ことです。当初は週3日稼働でスロースタートを意識しましたが、気づけば週6.5日で稼働していました。精神的にも余裕がなくなり、現在は週に2日休むよう心がけています。



今後の目標は、30代はデジタルで攻めます（360°カメラの勉強をしてGoogleで10万ビュー獲得しました）。40代は数字で攻めます（CFPとFP1級の取得を目指します）。50代は人事で攻めます（いろんな経験を通じて、組織について語れるようになる）。以上になります

◆◆銀行取引や財務の知識活かす◆◆

◆長船 洋人（おさふね ようと）◆

本年10月1日に独立しました。前職の商工会議所において、経営指導員としてのスキルアップを図るために診断士の勉強を始めましたが、様々な診断士の方々と一緒に仕事をするなかで、徐々に合格後の独立を意識するように



になりました。金融機関勤務の経験もあり、銀行取引や財務の知識を活かすことが得意分野です。独立により、今まで以上に事業者に役立つ仕事をしたいと考えています。開業してすぐに、これまでお世話になった方々にお客さんを紹介していただきました。仕事を任せてもらえるありがたみを実感しています。一方で、日々の仕事をこなしながら新しい事を学ぶための時間を作る事の難しさも感じています。

独立により環境が大きく変化しましたが、「自分が選んだ道は正しい」という想いは変わりません。多くの方に必要とされる診断士となるため、これからが本当の勝負だと肝に銘じて、一日一日を大切にしたいと思います。

◆◆経営改善、再生支援◆◆

◆福田 尚二（ふくだ しょうじ）◆

今年8月末にて、34年間勤務した地元金融機関を57歳で退職し、独立しました。平成6年、29歳の時に診断士資格を取得し、「いつかは独立開業を！」と思いながら、あっという間に長い年月が経ってしまいました。



この度、社内では役職定年、プライベートでは2人の子供が就職し、概ね手が離れたのを機に、新たなステージに挑戦することになりました。趣味のトレイルランニング、登山等のおかげか身体だけは丈夫なようで、「まだまだ身体が動く内に！」という思いもありました。

前職では本部で取引先の経営改善支援業務を長年担当しました。また、途中の出向先では産業振興財団で経営革新、ベンチャー支援を、岡山大インキュベータではIM業務を、おかやま活性化ファンドでは再生支援業務を経験しました。おかげ様で企業の「ゆりかごから墓場まで」の様々なフェーズでお手伝いをする機会をいただきました。

得意分野は、やはり経験年数の長い経営改善、再生支援業務です。ある意味、知識が偏った状況なので、創業、経営革新等の分野についても積極的に経験し、支援企業と共に自分も成長したいと思っています。

◆◆パラレルキャリア「強い企業」作りたい◆◆

◆山西 良明（やまにし よしあき）◆

この度、信用金庫で働きながら、本年4月に事務所を開設しました。ある時、地元の診断士仲間と話をしている中で、支援者が不足しているという話になりました。私は現在の職場でも経営支援に携わっているので、少しでも力になりたいと思い、勤め先から許可を得て、パラレルキャリアとして開業するに至りました。「強い企業を作る」ことをテーマに、中小企業向けマーケティングデザインを行っていきます。確率統計を軸に経営者の考える仮説を検証することで、より再現性や蓋然性の高い戦略を見つけ出すことを目指しています。



現在は岡山県内の仕事に限らず、リモートで全国の仕事を受けています。全国津々浦々、様々な経営者の考えを聞けるのがこの仕事の楽しさだと思います。そして、その考えを検証することで、どんどんビジネスが明確化していくことが、この上ない醍醐味だと感じています。

◆◆仕事を取れる診断士に…◆◆

◆原田大一郎（はらだだいいちろう）◆

本年4月に20数年務めた国土交通省を退職し、独立しました。不安と希望は半々でしたが、考えすぎると独立はできなかったように思います。



現在の仕事は商工会連合会での勤務と経営改善、補助金申請等を行っています。公務員の時より細かい仕事もしていますが、大変勉強になります。独立して良かったことは組織に縛られずに仕事ができることと、成果を出したときにダイレクトに評価されることです。

当会入会后、診断士のネットワークを活かして仕事を紹介してもらっていますが、今後は自分で仕事を取れるような診断士を目指したいと考えています。現在、キャリアアップ研究会に参加しています。良い繋がりができる活動をしたいと思っています。

◆◆◆委員会だより◆◆◆

「経営革新計画セミナー」開催

～研修委員会～

日本経済の回復に不可欠である中小企業の成長並びに持続的発展への期待が高まる中、中小企業診断士への期待と役割の重要性が高まっ



木野内診断士による Zoom セミナー

ています。こうした中、去る11月20日（土）、会員の資質向上を目的とし、会員向けセミナー（第1回）を開催したところ、32名の参加がありました。

今回は「経営革新計画についての Zoom ミニセミナー」と題し、岡山県内の経営革新支援に数多く携わった木野内俊典診断士を講師に迎え、企業における経営革新計画の有効性、計画策定における診断士の役割や支援のポイント、そして法改正に伴う最新の動向などについて、具体的な事例を交えて講演をいただきました。

セミナー終了後には、「他の施策との関連は？」「アイデア出しのコツは？」等、数多くの質問が出るなど、参加者の関心の高まりが感じられました。今後、診断士による経営革新計画を活用した支援が、積極的に展開されることが大いに期待されます。

研修委員会では引き続き、ニーズに応じたミニセミナーを企画いたします。次回以降もぜひご参加ください。

実務従事事業開催

～企業内診断士事業委員会～

本年度の実務従事事業には6名の企業内診断士が参加しています。今回も密を避けるため、以下の2社に対し、それぞれ3名が対応し、事業を提案します。

1. A社（業種 健康食品製造販売業）

実務内容：自社製品の販路開拓（BtoB から BtoC へ）計画策定支援

2. B社（業種 紙加工業）

実務内容：新分野展開の方向性の明確化と
その実現に向けてのアドバイス

実際のコンサルタント業務では、基本的に1人で現状分析や助言、指導を経営者に対して実施するため、参加者各人が自ら考えた助言や計画を各々で提案します。職場内で各人が培ったスキルと試行錯誤しながら考え、導き出した素晴らしいアイデアを、コロナ禍の影響で売上が低迷する各企業の経営者に提案、助言する予定です。具体的な提案や実行可能性の高い計画書の策定支援により、コロナ禍で苦慮する各企業の今後の売上拡大に繋がることを期待しています。

上記事業は中小企業診断士として、経営者の伴走者となり中小企業経営を盛り上げるために必要な知識の習得と独立の際に必要な実践的な経験ができる事業と考えています。

無料相談会の案内

～無料相談事業委員会～

○10 土業合同無料相談会

- ・倉敷市役所 令和4年1月17日（月）
担当 小泉 守
- ・津山市役所 令和4年1月18日（火）
担当 福田 虎太郎
- ・岡山市役所 令和4年1月19日（水）
担当 福田 尚二

※開催時間はいずれも9:30～16:00

○おかやまインキュベータ協議会「創業相談会」

日時：令和4年1月30日（日） 13時～17時

場所：岡山県立図書館 サークル活動室

担当：三宅裕子、山西良明



◆◆◆診断士フォーラム◆◆◆

農業AI活用と今後のDX戦略

本年9月12日（日）に診断士フォーラムを開催しました。コロナ禍での開催となり、Zoomにて石川県中小企業診断士会の遠田幹雄先生に『農業AI活用と今後のDX戦略について』とのテーマで講演していただきました。

完全オンライン開催となりましたが、30名以上の参加と石川県の中小企業診断士会 AI 研究会からも4名の参加があり、盛況なフォーラムでした。

農業の画像判定AIとは、「五郎島金時（＝金沢の伝統野菜・さつまいもの品種）」の分類・仕分け判定といった人の勘と経験によるものを「IT化」したもので、熟練者ではなく、パート等の経験無い方でも判定ができる仕組みを開発した事例を発表していただきました。

また、石川県のAI研究会発足のいきさつなど盛りだくさんの内容もおやじギャグを交えながら、わかりやすく、楽しくご紹介いただきました。

後半のブレイクアウトルームでは石川県診断士会の皆様とも交流でき、非常に実りの多いフォーラムとなりました。

AIの活用とDXの推進が「今後のカギ」となり、今後の中小企業診断士は専門家、技術者、ITベンダーなどを繋げるハブとした役割が必要であると感じました。



石川県診断士会との合同開催

◆◆◆診断士フォーラム開催予定◆◆◆

- ・新春フォーラム・新年会 令和4年1月16日（日）
- ・3月フォーラム 令和4年3月13日（日）

◆◆新春フォーラムのご案内◆◆

今回の新春フォーラムは、木下サーカス株式会社 代表取締役社長 木下唯志様をお招きし、「コロナ禍と向き合う企業の在り方」と題して講演をいただきます。

コロナ禍の影響が長引き、第6波の到来が心配される中、中小企業経営を取り巻く環境は厳しさを増しています。そうした状況においても果敢に挑戦している経営者の話を聞くことで、今後役に立つ気づきや学びが得られることと思います。ぜひ奮ってご参加ください。

岡山県中小企業診断士会「新春フォーラム」特別講演会

木下サーカス株式会社 代表取締役社長
木下 唯志 氏

約5か月の営業休止でもリストラはしない！
コロナ禍と向き合う企業の在り方

2022.1.16(日) 開場14:30 15:00~

会場：サン・ピーチOKAYAMA
岡山市北区駅前町2-3-31 TEL: 086-225-0631

【講演会の部】(15:00~16:50)
・対象: 診断士会員、会員の紹介がある方
・会費: 無料

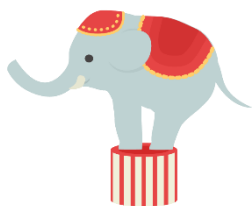
【新年会の部】(17:30~19:30)
・対象: 診断士会員、会員の紹介がある方
・会費: 会員は2,000円、非会員は5,000円

●申込は、所属・氏名・電話番号、講演会・新年会の部ごとの
出欠をご記入のうえ、12/21(火)までに、FAXまたはメールで
FAX: 086-225-4554 Mail: osmeca@optic.or.jp



◆開催要領◆

- 【日時】 令和4年1月16日(日) 15:00~
- 【場所】 サン・ピーチOKAYAMA
(岡山市北区駅前町2丁目3-31)
- 【講演会】 (15:00~16:50)
演題: コロナ禍と向き合う企業の在り方
講師: 木下サーカス株式会社
代表取締役社長 木下 唯志 様
- 【新年会】 (17:30~19:30)
- 【参加費】 会員 2,000 円、一般参加者 5,000 円



◆◆会員投稿◆◆

会員 安原 朋彦

縄文杉登山に行ってきました。

11月18日木曜日、早朝5時に屋久島空港近くのホテルを出発し屋久杉自然館にて荒川登山口行きのバスに乗る。

5時40分頃に荒川登山口バス到着。少し心の準備をして5時50分に縄文杉に向けて歩き始める。日の出時刻は6時44分なので辺りは漆黒の闇夜。ヘッドライトが無いと10cm先が見えない。天気は当然雨模様(ただし小降り)。

荒川登山口から縄文杉まで水平距離で片道11km、その間標高600m地点から1,300m地点まで700mほど登るらしい。

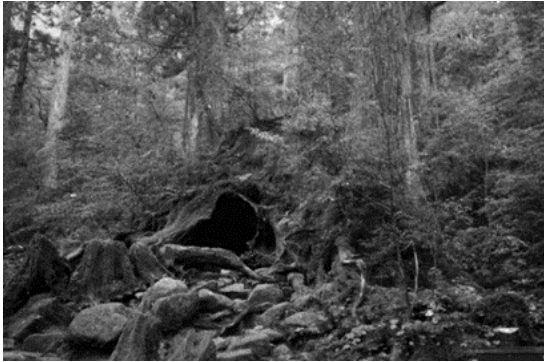


トロッコ道

登山道の前半8.1kmはトロッコ道。杉材搬出用のトロッコの線路の間に板敷の道が作ってあってそこを歩く。緩い登り勾配なので最初は遠足気分である。雨がパラパラと降る中をせっせと歩く。



これくらいの木は屋久島ではヒヨツ子



ウィルソン株

8時31分にウィルソン株まで来た。ここから縄文杉まで1.9km。ここからはけっこう陰しいガレ場の連続で、ほんの10m進むのに息が上がる。トロッコ道の遠足で適度に体力も削られている。



屋久島の森

帰りは下りなので疲れているが進みが速い。結局14時30分頃に荒川登山口に帰ってきた。迎いのバスが15時に来て、それに乗って帰った。

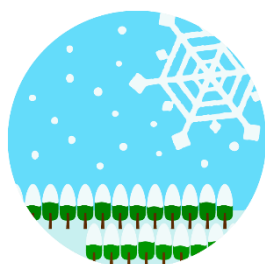


縄文杉

9時57分、縄文杉に到着。とは言っても白く水蒸気が煙っている中遠巻きに眺めるだけ。感動より疲労と空腹が大きい。さらに10分ほど登って高塚小屋まで行く。狭い小屋に入って雨宿り、ホテルで作ってもらった弁当を食べて、食い終わったら、せわしく下山。時刻はたぶん10時半くらい。

★縄文杉登山に必要なもの

- ・登山届の提出（登山口に提出用ポストあり）
- ・ヘッドライト
- ・透湿防水性能が高い雨具（ほぼ雨が降る）
- ・手袋（私は持っていなかったが軍手でも用意すれば良かった）
- ・トレッキングポール（日頃登山しないので持っていません）
- ・昼飯やバナナやチョコや飴、それなりの量の水分



書籍紹介

「伝わる文章」身に付けたい方へ



藤吉豊・小川真理子『「文章術のベストセラー100冊」のポイントを一冊にまとめた。』日経BP, 2021.

「もっと伝わる文章は書けないものか」多くの診断士は、報告書、プレゼン資料、補助金の申請書等を書く時、読む時に思うことがあるだろう。いくらいいアイデアでも、伝わらなければ意味がない。IoTが進展した現代でも、文章を書くことは、相変わらず基本的なスキルであるが、一朝一夕に身につくものではない。

この基本スキルをリスト化しているのが本書である。思考法、文章術のジャンルの中で有名なものの100冊の中からノウハウを洗い出し、登場冊数によってランキング形式で示しているのだから、ノウハウ本をまとめたノウハウ本とでも呼びたくなる体裁である。

表層的なノウハウ本を嫌う向きもあることは承知しているが、これだけまとまると迫力がある。知らないものもあるだろう。その場合は本書にしっかりと出所が記されているので、安心して深掘りすることができる。硬質な文章に限らず SNS への投稿にも使える内容には即効性もあるだろう。

これを新人研修や学生向けの講義だけに使用するには勿体無い気がする。誤解や気持ちのズレがなくなる文章を書く際にチェックリストとして活用していきたいものだ。

(書評 会員 松田 周司)



会員異動 (令和3年8月～)

○新規会員：西井正樹、藤本宏起、小路雅也
浦上智行

○訃報：玉置定男 (10月27日ご逝去)
青井賢平 (11月28日ご逝去)

今後の行事予定

◆◆理論政策更新研修◆◆

日程：令和4年8月21日(日)
12時50分～17時00分

場所：岡山コンベンションセンター
コンベンションホール

◆◆令和4年度総会◆◆

日程：令和4年6月25日(土)
15時～16時30分 のち懇親会

場所：サン・ピーチOKAYAMA。



編集後記

来年は寅年、寅年は春が来て根や茎が生じて成長し、草木が伸び始める年だそうです。中小企業診断士の芽を成長させて、益々のご活躍をお祈り申し上げます。

岡山県診断士会会報 第20号
令和3年12月15日 発行
一般社団法人岡山県中小企業診断士会
〒700-0907 岡山北区厚生町3-1-15
岡山商工会議所ビル5F
Tel 086-225-4552 Fax 086-225-4554

発行人 会長 松本直也
編集人 専務理事 太田記生

